

Reference

レファレンス・サービス

「レファレンス・サービス」とは、図書館員が調べもののお手伝いをすることです。調べ方がわからない、適切な資料が見つからないなど、困った時はまずは学校司書に相談してみてください。また、公共図書館では、メールによる相談を受け付けている館もあります。

「率直に、要領よく、簡潔に」質問すること！

- a 何を知りたいのか
- b いつまでに情報が欲しいか
- c どのくらいの量、どのくらいの深さで欲しいか
- d どんな形態の情報が欲しいか
- e いつの時点の情報が必要か
- f これまでに何をどうやって調べたか

* 『学生・社会人のための図書館活用術』 藤田節子/著 日外アソシエーツ 参照

注！ 図書館員（司書）ができるのは“お手伝い”です。本人に代わって調査研究を行うわけではありません。

図書館員（司書）に聞く前に自分で調べてみたいという人は、国立国会図書館のHP 内にあるレファレンスサイトを活用してみてください。

【レファレンス協同データベース】

国立国会図書館と全国の図書館が協同で構築している調べものためのデータベース。レファレンス事例や調べ方マニュアルを探することができる。

【リサーチ・ナビ】

求める情報に効率よくたどりつけるような「調べ方のヒント」を提供するサイト。調べ方のノウハウ、関連する本、専門室の情報、データベースやウェブサイトの案内など、調べ物に役立つ情報を探することができる。

レファレンス・サービスで、自分が求めている完璧な回答が得られるとは限りませんが、利用してみる価値はあるはず！ 遠慮なく相談してみましょう！

（司書）